

事業群評価調書(令和4年度実施)

基本戦略名	1-3 長崎県の未来を創る子ども、郷土を愛する人を育てる	事業群主管所属・課(室)長名	教育庁 学芸文化課	日高 真吾
施策名	2 郷土を愛し、地域を支える心豊かな人材の育成	事業群関係課(室)		
事業群名	⑥ 創造性や独創性など豊かな人間性を育てる子どもたちの文化芸術活動の推進	令和3年度事業費(千円)	※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額	29,296

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)							
子どもたちの文化力の向上と裾野の拡大を図るため、市町教育委員会や中学校文化連盟、高等学校文化連盟と連携し、中・高の文化芸術活動の充実と活性化に取り組みます。また、子どもたちの豊かな人間性を育むため、鑑賞や成果発表の機会を提供します。		i) 中高文化部活動への支援や研修会の実施 ii) 小・中・高校生への優れた芸術の鑑賞機会、成果発表機会の提供							
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	進捗状況の分析 「子ども県展」は、市町教育委員会及び県造形教育研究会と連携し、児童生徒の図画工作・美術に対する意欲・関心を高めるとともに、創作の喜びを味わわせ、また、作品の鑑賞を通して、表現力の向上や豊かな情操の育成を図ることを目的として、県内の小・中学校及び特別支援学校小・中学部の児童生徒を対象に作品を募集し、優秀作品の表彰及び作品展を開催している。 令和3年度も、80,000人を超える応募があった。平成17年度に県の主催事業となって以降、募集方法の改善や、作品づくりの授業への組み込みなどを推進した結果、ここ数年は70%を超える応募率を維持している。
	「子ども県展」への応募率	目標値①	75.0%以上	75.0%以上維持	75.0%以上維持	75.0%以上維持	75.0%以上維持	75.0%以上維持(R7)	
	実績値②	74.7% (R元)	79.6%					進捗状況	
	達成率②/①		100%					順調	

2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和3年度事業の成果等			
				R2実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R2目標	R2実績		達成率		
取組項目 i	○	1	中学校・高等学校文化活動推進事業費	R3実績	14,881	14,881	7,824		令和3年度事業の実施状況(令和4年度新規・補正事業は事業内容)  事業対象  中学校・高等学校の文化活動の推進とすそ野の拡大を図ることを目的として、積極的に活動する部活動等を指定し、その活動に対する助成を行うとともに、県総合文化祭及び全国総合文化祭への参加費等への支援を実施した。	【活動指標】 文化活動推進校(中・高)指定種目に指定した部活動数(部)	R3目標		45	45
				R4計画	18,042	18,042	6,232	R4目標			43			
				事業実施の根拠法令等										
			事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)								
			H18-					【成果指標】 強化指定種目(中・高)のうち九州大会以上に出場した部活動の割合(%)	R3実績	85	81	95%		
			学芸文化課				中学生、高校生、教員		R4実績	85				

取組項目 i	2	部活動指導員配置事業費	415	415	2,347	部活動指導員を県立学校に2名、市町に1名配置した。これにより、教員の部活動従事時間が縮減されるとともに、部活動指導員が専門的な実技指導を行うことで、教員の負担軽減を図った。	【活動指標】	2	2	100%	●事業の成果 ・配置校では、顧問の部活動に従事する時間が削減されるとともに、部活動指導員が専門的な実技指導を担うことにより、教員の負担軽減につながった。	
			421	421	3,895		文化部活動指導員の配置数(人)	3	3	100%		
			1,179	1,042	3,841		文化部活動指導員の配置時間以上に教員が部活動に従事する時間数を縮減した学校の割合(%)	100	100	100%		
			—				【成果指標】	100	100	100%		
			R2-				配置校における当該部活動担当教員のうち負担を軽減できたと感じた教員の割合(%)	100	100	100%		
			学芸文化課	—	—		—	県立学校、市町	100			
取組項目 ii	○	3	魅力あふれる児童生徒の作品展開催事業	2,437	2,437	5,477	子どもたちの図画工作・美術に対する意欲・関心を高めるとともに、創造の喜びを味わわせ、表現力の向上や豊かな情操の育成を図るため、県内小・中学校の児童・生徒を対象とする作品を募集し、優秀な作品の表彰及び展示(総合展・巡回展)を行った。	【活動指標】	100	86	86%	●事業の成果 ・「子ども県展」に向けた制作を通じて、表現力の向上と、県内の子どもたちの図画工作・美術に対する興味・関心を高めることができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・多くの子どもたちに創造の喜びを味あわせるとともに、図画工作・美術に対する意欲関心を高めることにより、目標達成に寄与した。
				2,667	2,667	4,674		子ども県展参加校数の割合(%)	100	87	87%	
				3,608	3,608	4,609		【成果指標】	77,860	80,531	103%	
				—				子ども県展応募者数(人)	79,188	84,096	106%	
	H18-					78,267						
	学芸文化課	—	—	—	小学生、中学生							
	○	4	子ども舞台芸術鑑賞事業	5,609	5,609	4,694	子どもたちの豊かな感性や情操を育み、文化活動の振興を図ることを目的として、クラシック音楽を志す子どもたちの発表の機会を提供した。 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した公演があったが、代替公演を行うことで、子どもたちの舞台芸術を鑑賞する機会を確保した。	【活動指標】	25	15	60%	●事業の成果 ・新型コロナウイルス感染症の影響による公演の中止や会場の人数制限等により目標値には届かなかったが、優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、子どもたちの伝統・文化に対する理解を深め、豊かな感性や情操を育むことができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・新型コロナウイルス感染症の影響により成果指標目標値には届かなかったが、子どもたちに舞台芸術の鑑賞機会を提供することにより、文化芸術活動の充実に寄与した。
				6,367	6,367	4,674		青少年劇場公演数(公演)	25	20	80%	
				7,517	7,517	4,609		【成果指標】	6,842	2,134	31%	
				社会教育法				青少年劇場鑑賞者数(人)	4,883	3,076	62%	
H18-								4,884				
学芸文化課				—	—	—		幼児、小学生、中学生、高校生				
○	5	ながさき“若い芽”のコンサート開催費	2,023	2,023	4,694	子どもたちの豊かな心の育成と青少年の文化活動の振興を図ることを目的として、クラシック音楽を志す子どもたちの発表の機会を提供するため、ながさき“若い芽”のコンサートを開催した。 新型コロナウイルス感染症の影響により、オーディションは動画審査で実施し、より多くの方が鑑賞できるよう、Webコンサートを実施した。	【活動指標】	1	1	100%	●事業の成果 ・クラシック音楽を志す子どもたちの発表の機会提供として、ながさき“若い芽”のコンサート開催により、子どもたちの豊かな心の育成と文化芸術活動に取り組む人材の育成が図られた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・成果指標目標値を超え、多くの子どもたちに発表の機会を提供することにより、文化芸術活動の充実に寄与した。	
			1,799	1,799	4,674		コンサート開催回数(回)	1	1	100%		
			2,994	2,994	4,609		【成果指標】	152	213	140%		
			社会教育法				オーディション応募者数(人)	155	174	112%		
			S62-				158					
			学芸文化課	—	—		—	小学生、中学生、高校生				

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 中高文化部活動への支援や研修会の実施</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題          中高文化部活動については、全国大会において上位入賞や連続出場を果たすなど、優れた成績を収めており、中高文化部活動への支援や研修会の実施が成果として表れている。          中高文化部活動の子どもたちが全国レベルで一層活躍することを目指し、また、さらなる文化力の育成とすそ野の拡大を図るため、持続的な支援を行う必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性          今後も、県中学校文化連盟及び県高等学校文化連盟と連携し、全国レベルの活躍が期待できる部活動や、地域に根差した活動を積極的に行う学校等への活動経費を支援していく。また、さらなる文化力の育成とすそ野の拡大を図るため、県中学校総合文化祭や県高等学校総合文化祭「しおかぜ祭」の開催経費を支援していく。</p>
<p>ii 小・中・高校生への優れた芸術の鑑賞機会、成果発表機会の提供</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題          ・音楽、古典芸能、児童劇などの優れた舞台芸術鑑賞事業は、離島地域を含む多くの子どもたちに舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、豊かな人間性を育むことに寄与している。本事業は、子どもたちが優れた舞台芸術に直接触れることのできる有効な施策であるため、継続していく必要がある。近年は、新型コロナウイルス感染症の影響による公演の中止等で鑑賞者数が減少しているが、感染症拡大などの様々な状況下でも、子どもたちの芸術鑑賞の機会を確保できるよう、工夫して実施する必要がある。          ・「子ども県展」は、県内小・中学校の図画工作・美術における学習活動の成果を発表する機会として広く定着し、子どもたちの目標の一つとなっている。令和3年度の応募率については、目標値を達成することができ、子どもたちの図画工作・美術に対する意欲・関心の高揚に寄与することができた。          ・「ながさき“若い芽”のコンサート」は、子どもたちの発表機会として広く定着し、クラシック音楽を志す県内の子どもたちの目標の一つとなっている。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性          ・舞台芸術鑑賞事業は、今後も、周知徹底を図り、学校間の合同開催等により、多くの子どもたちに舞台芸術の鑑賞機会を提供し、効果的・効率的な実施を図る。また、感染症拡大時には、代替公演を行う等、子どもたちの芸術鑑賞の機会の確保を図る。          ・「子ども県展」は、子どもたちの図画工作・美術に対する意欲・関心を高めるとともに、豊かな情操を育成するため、県造形教育研究会との連携を密に図りながら、不参加校への働きかけを引き続き行うなど、普及啓発の推進を図る。          ・「ながさき“若い芽”のコンサート」は、コンサート及びオーディション開催地域の周辺地域にポスター・パンフレットを重点的に配ることで効果的・効率的な広報活動に注力し、また、オーディションの申し込みを簡易化するために、引き続き手続きをインターネットでも行えるようにすることで、オーディション応募者のさらなる確保を図る。</p>

### 4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和4年度事業の実施にあたり見直した内容		令和5年度事業の実施に向けた方向性	
			事務事業名 事業期間 所管課(室)名	※令和4年度の新たな取組は「R4新規」等と、見直しがない場合は「―」と記載	事業構築の視点	見直しの方向 見直し区分
取組項目 i	○	1	中学校・高等学校文化活動推進事業費	事務の効率化を図るため、補助金の実施要綱について、様式の追加・削除等の見直しを行った。	―	高等学校においては、引き続き地域や市町や学校の枠を越えた文化活動の推進を図り、県総合文化祭「しおかぜ祭」開催の支援など、文化活動の活性化を図る必要がある。 中学校においては、平成30年度第18回全国中学校総合文化祭長崎大会を契機として、引き続き文化活動の育成・強化を図るとともに、生徒の文化に対する意欲向上を継続的に図る必要がある。 また、中学校、高等学校ともに、全国レベルで活躍できる学校部活動等に対する活動経費の支援を行い、各校が切磋琢磨をしながら、さらなる大会成績向上を目指すために継続的に支援する必要がある。
			H18-			
			学芸文化課			
		2	部活動指導員配置事業費	文化部活動指導員の効果的な活用事例の情報収集を行い、学校や各市町に対して周知を図る。	②	令和2年度から配置している文化部活動指導員について、本年度配置校や他県での有効な活用事例の情報収集を行い、更なる効果的な活用方法について検討を行う。 また、その情報や検討内容について、各種会議等などの機会を捉え県内市町へ広め、配置拡充の検討につなげる。
R2-	学芸文化課					

取組項目 ii	○	3	魅力あふれる児童生徒の作品展開催事業	これまで県内小中学校、各市町教育委員会及び教育機関に募集案内を送付し、ポスター・チラシを配布するなど、広報活動に力を入れることで高い応募率を維持している。 子どもたちの図画工作・美術に対する関心を高めるとともに、豊かな情操を育成するため、県造形教育研究会との連携を密に図りながら、不参加校への働きかけを引き続き行い、普及啓発の推進を図る。	—	「子ども県展」は、県内の小中学校の学習活動の中で制作する図画工作・美術作品の発表機会として、県内の子どもたちに広く定着し、子どもたちの目標の一つとなっており、年々、児童生徒数が減少する中、応募率は高い水準を維持している。 今後も、子どもたちの図画工作・美術に対する関心を高めるとともに、豊かな情操を育成するため、県造形教育研究会との連携を密に図りながら、不参加校への働きかけを引き続き行うなど、普及啓発の推進を図る。	現状維持	
			H18-					
			学芸文化課					
		○	4	子ども舞台芸術鑑賞事業	事務の効率化を図るため、補助金の実施要綱について、様式の追加・削除等の見直しを行った。 また、優れた舞台芸術を鑑賞する機会の提供を継続するため、演目の見直しを行った。	②	音楽・古典芸能・児童劇など優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供することにより、伝統・文化に対する理解を深め、これらを尊重する態度や文化芸術を愛好する心情や感性を育み、豊かな心の涵養を図る。今後も、優れた舞台芸術の鑑賞・体験機会を多くの子どもたちに提供するため、効果的・効率的な事業の実施を図る。	改善
			H18-					
			学芸文化課					
		○	5	ながさき“若い芽”のコンサート開催費	—	②	「ながさき“若い芽”のコンサート」は、声楽、ピアノ、弦楽器・ギター、管・打楽器の4部門で構成され、子どもたちの音楽コンクールとしては、県内では他に類がない充実した内容の事業である。さらに、子どもたちの音楽の発表機会として広く定着し、クラシック音楽を志す子どもたちの目標の一つとなっている。 新型コロナウイルス感染症拡大などの様々な状況下でも、持続的に事業を実施していくため、通常開催と並行してビデオ審査やオンラインコンサートによる実施を想定した事業計画を検討する。	改善
			S62-					
			学芸文化課					

注：「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点